

倉吉農業高等学校生徒が門松を寄贈

令和元年12月18日（水）、鳥取県立倉吉農業高等学校環境科緑地環境コース生徒10名が倉吉市役所を訪れ、西玄関に学習の中で製作した門松を設置しました。

門松は青竹と千両・南天・クロマツ・多行松・葉ボタン等で飾られています。青竹の伐り出し作業から始まり、のこぎりやかんなを使いながら切り口を生徒達が加工しました。葉ボタンも生徒達が育てたものを使用しています。



この門松の製作は、ガーデニング・総合実習の授業の中で学習した造園緑化材料・技術を用い、地域文化の伝承と地域みなさんに倉吉農業高等学校の学習内容を理解していただくために取り組んでいるものです。

11年目となる今年も、倉吉市役所、市立図書館、中部地区のすべての公立中学校、倉吉駅前に門松が寄贈され、1月10日まで設置されます。

生徒代表から、「地域の方が元気になると作りました。これからも地域に貢献していきたいです。」とあいさつがあり、倉吉市教育委員会教育長からは、「新しい年を凛として迎えることができます。こうした経験を今後にかけていってください。」と感謝の気持ちが伝えられました。

